



耐久 ~真健美~

Taikyu Senior High School



平成24年度
和歌山県立耐久高等学校 全日制
Monthly Times September

マンスリータイムズ 9月号

◆ 耐久高等学校学校説明会について

1日(土)、中学生・保護者・教員を対象に、学校説明会が開催されました。説明会は体育館で行われ、マンドリン部の演奏、学校長の挨拶の後、学校説明、留学体験発表と続きました。

本校の学校説明会は、司会進行の放送演劇部を始めとして、たくさんの生徒の協力の下行われました。舞台での学校生活の説明や留学体験等、全体会や学校案内係など生徒の手によって運営しました。中学生は希望にあわせて、体験授業を受講したり、施設やクラブ見学等を行い、説明会が終了しました。また中学校保護者及び教員も、希望者が校内施設見学をしたり、相談コーナーで熱心に質問する姿が見受けられました。今年の説明会は、生徒449名、保護者・教員合わせて96名、計545名の参加があり、昨年度より100名近く中学生の参加者が増加し、本校に対する関心の高さを伺うことができました。終了後の参加者アンケート結果からみても、「学校の様子がよくわかった」「高校生が優しく対応してくれた」など内容の良い説明会との評価を得ることができました。来春たくさんの中学生が本校を志望してくれることを望んでいます。



◆ Science Partnership Project 事業について

3・4・10・11日の4回にわたり、和歌山大学教育学部数学教育准教授川上智博先生を講師としてお迎えし、「幾何学の扉」と題し授業が行われました。授業では、紀元前275年ヘレニズム時代のエジプトで活躍したギリシャ人の学者エラトステネスが地球の大きさを測定した方法を用いて、生徒も計算をしたり、円周率を実際に作る実習、欠損角の定義など様々な内容を学びました。

また、内容の理解を深めるため、教具も透明地球儀ビーチボールやジオマグなどを使用し、わかりやすく楽しい内容となりました。

結果のまとめでは、生徒がポスターを作成し各班ごとにプレゼンテーションを行い発表しました。高校生のコミュニケーション能力を高める必要性は、社会問題化しています。高校生が様々な機会に於いて自らの理解したことや考えを発表することで、人にわかりやすく伝える工夫や、説明するためのより幅広い知識の必要性を感じることで「自ら学ぶ」意識に繋がる有意義な機会となりました。

Science Partnership Project 事業は、生徒の科学技術、理科・数学に対する興味・関心と知的探求心等を育成することを目的として行われています。授業では、先生の熱心な説明や講義に耳を傾け、受講した生徒たちは幾何学に関し興味関心を高め、理解を深めることができました。



◆ 文化祭について



21日(金)・22日(土)の2日間「160周年だぜえワイルドだろお!?~Legend of TAIKYU~」のテーマのもと、文化祭が開催されました。1年生は展示、2年生は舞台発表、3年生はバザーと、それぞれのクラスとも内容充実のため創意工夫が見られました。この他、文化クラブ等、書道部や華道部・美術部の作品展示や自然科学部の研究発表、茶道部の茶会等、日頃の取組の成果を発表し、すばらしい取組内容が紹介されました。また、17日(土)の一般公開ではPTAバザーや作品展示なども加わり、子供たちを含めたくさんの地域の皆様にお越しいただき、地域との交流も取り入れた賑わいのある充実した文化祭となりました。



10月の予定

- 1日~5日 2期中間考査
- 1日、2日 地区懇談会
- 11日 薬物防止講演会
- 12、13日 ロングハイキング(2年生)
- 18日 人権学習講演会
- 20日 稲むらの火まつり
- 26、27日 3年模試、1、2年生模試

